

CONTENTS

第1章 はじめに	1
第2章 書く前に	3
2.1 なぜ書くのか	4
2.2 書く際の心得	6
2.3 うまいと得する申請書	8
2.4 何を研究するか	9
ポイント! 研究対象の深い理解に近道はない	12
第3章 何を書くのか	13
3.1 何を書くのか	14
ポイント! 何を書くべきかをキチンと理解しよう	16
Column 喩え話の錯覚	16
3.2 研究課題	17
3.3 背景	20
3.3.1 研究テーマを含む一般的な背景	20
ポイント! 背景を書くときは砂時計をイメージする	21
ポイント! 読み手を置いてけぼりにしない	21
3.3.2 研究テーマに特化した背景	22
テクニック! 文献の引用方法	23
ポイント! 「だから何?」に対する回答を用意する	24
3.4 なぜ今その研究なのか	25
3.4.A.1 何が問題なのか	25
テクニック! 解決できそうなものだけを問題点として提示する	25
3.4.A.2 なぜその問題は未解決のまま放置されていたのか	26
ポイント! 「なぜ未解決だったのか」の理由付けは、よく考えて!	26
3.4.A.3 その未解決問題でどのような弊害が起きているのか	27
テクニック! 「研究課題の核心をなす学術的『問い』」の書き方	28
3.4.B.1 どういう視点が欠けていたのか、何が可能になったのか	29
3.4.B.2 新たな価値の提案	30
ポイント! 実現可能性はFeasibilityではなくPossibilityを前面に出す	30
3.4.B.3 なぜ今その研究なのか	31
3.5 解決のアイデア・研究目的・研究計画	32
3.5.1 研究のアイデア	32
ポイント! 研究のアイデアこそオリジナリティの源泉である	33

テクニック! 新しいアイデアの生み出し方	33
3.5.2 その方法がうまくいくと考える根拠	34
テクニック! 研究の特色・独創的な点の書き方・考え方	36
テクニック! 未発表データは有効に使う	38
3.5.3 具体的に何を明らかにするのか	38
3.5.4 何をどのように行うのか	41
3.5.5 どうなれば解決できたと言えるのか	42
テクニック! 強調するところを間違えない	43
テクニック! うまくいかない場合も想定する	44
Column 仮説の生成と仮説の証明	44
Column 事前仮説を持つ	45
3.5.6 研究を実行できると考える根拠	45
3.6 何がわかるのか	47
3.6.1 どういう立場から何をどうするのか	47
3.6.2 他の分野にどのような影響を与えるのか	48
ポイント! 「他の研究にも利用可能である」の幅は広い	50
第4章 どう書くのか	51
4.1 どう書けば読み手に伝わるのか	52
4.2 読みやすく —正しい日本語で審査員のストレスをなくす—	53
4.2.1 英語・カタカナ語・漢語・略語・造語を乱用しない	53
4.2.2 1文が長すぎない、短すぎない	54
4.2.3 括弧による強調や補足を多用しない	55
4.2.4 修飾の順序、句読点の打ち方	56
4.2.5 省略可能な言葉・文字がないか気をつける	57
4.2.6 書き言葉と話し言葉の違いを意識する。稚拙な表現を控える	58
テクニック! ら抜き言葉の見分け方	59
4.2.7 適切な漢字・ひらがなを使用する	59
ポイント! ひらがなの連続はやっかい。漢字の連続もやっかい	61
Column 公用文書独特の表現	61
4.2.8 比較・並列は表現を対応させる	61
4.2.9 日本語を正しく使う	62
4.2.10 無駄にへりくだらないこと、大げさでないこと	62
4.3 わかりやすく —論理的かつ説得力を持って説明する—	64
4.3.1 シンプルに伝える	64
4.3.2 専門用語はわかりやすく	65
ポイント! テルブリュックの教え	66
4.3.3 抽象的でないこと(具体的であること)	67
テクニック! 具体的には、……	67

4.3.4	なぜこの研究を行うのか	68
4.3.5	言い切る、言い方を考える	69
4.3.6	否定表現は肯定表現に変える	71
4.3.7	強調はほどほどに、意味を持たせる	72
4.3.8	内容の連続性を意識する	73
4.3.9	接続詞を適切に使う	74
4.3.10	審査員を意識し、読み手に優しい文章を心がける	75
4.4	美しく 一細部にまでこだわり、無意識に働きかける	76
4.4.1	揃える	76
4.4.2	余白	81
4.4.3	文字位置の微調整	82
4.4.4	フォント	84
4.4.5	大見出し、小見出し	85
4.4.6	図表の体裁	86
4.4.7	イラストの描き方	87
4.5	推敲や見直しでより良い申請書にする	90
	ポイント! 漢字・かな比	92
	Column おすすめ書籍	92
第5章	申請書のヒント	93
5.1	オズボーンのチェックリスト	94
5.2	学振および科研費申請書などを公開しているサイト 検索の仕方	96
	ポイント! 自分が納得できる場所を参考にしよう	97
5.3	データベースの利用	98
5.4	そこそこテンプレート	101
	テクニック! 「これまでの研究の背景・問題点・解決方策」の別例	105
	テクニック! 研究の特色・独創的な点に何を書くか	109
	テクニック! 前向きに書く	113
5.5	粒度の粗いそこそこテンプレート	130
5.6	科研費.comのチェックリスト	134
第6章	おわりに	135
	独り言	136